

令和5年度 介護職員等訪問指導研修メニュー 一覧表

	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
①	利用者の能力を引き出す 移動・移乗 (講師:理学療法士)	ボディメカニクスの原理を学び、双方が安全・安心・ 安楽な移動・移乗動作を身に付けることができる 軽介助～中等度の介助の方を対象としています。軽介助 で立ちあがり困難な対象者の方に対するの介助方法に ついてはテーマ⑧をおすすめします。	① 利用者の能力を引き出すことの理解 ② 介護を行う姿勢の注意点 ③ 能力を引き出す介助(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗・歩行)のポイント
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
②	褥瘡・拘縮予防と ポジショニング (講師:理学療法士)	安全・安楽の観点から座る姿勢、寝るを評価して、現 状維持から改善に役立つようポジショニングの援助 技術を身に付ける	① 姿勢の介助の目的と効果 ② 人の身体構造・機能の知識 ③ 悪い姿勢、正しい姿勢の理解とアセスメント(臥位・座位) ④ 姿勢の評価(グローブ使用) ⑤ 圧抜き、圧分散、座り直し ⑥ ポジショニング
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
③	自立支援をめざした 福祉用具の選定と活用 (講師:作業療法士)	適切な福祉用具の選定・住まいの環境整備の方法を 理解することで、生活場面に合わせた自立を支援す ることができる 生活に便利な福祉用具を探している事業所におすすめです。	① 日常生活動作の基本知識 ② 福祉用具の基礎知識 ③ 疾患別の特徴と場面に応じた福祉用具の活用方法 ④ 自立支援を目指した福祉用具の選定とフィッティング ⑤ 身体機能、ADL面のアセスメント
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
④	自立を意識した 着替え・入浴介助 (講師:介護福祉士)	保清に関する基本を学ぶことで、自立を意識した安全 で快適な清潔を維持するための技術を身に付ける ことができる	① 清潔の目的と効果 ② 自己決定(意思確認、同意、言葉かけ) ③ 基本的な更衣・入浴の介助
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑤	排泄ケアと 関連用具の選定 (講師:介護福祉士)	排泄に関連する用具の適切な選定方法および知識・ 技術を修得することで、個々の状況に合せた排泄ケ アができる	① 排泄に関する基礎知識 ② 排泄ケアのためのアセスメント ③ 排泄のメカニズムと失禁のタイプ ④ 排泄関連用具の種類と選定、使い方 ⑤ オムツの適切な使い方
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑥	摂食嚥下障害者のケアと 食事介助 (講師:言語聴覚士)	摂食、嚥下のメカニズムを学ぶことで、利用者の状態 の観察・把握ができ、安全な食事環境を提供するこ とができる	① 口から食べることの重要性 ② 摂食嚥下のメカニズム ③ 摂食嚥下障害の原因と症状 ④ 食事のアセスメント ⑤ 食事介助のポイント ⑥ リスク管理
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑦	口腔ケアと介護予防 (講師:歯科衛生士)	適切な口腔ケアを学び、口腔機能、口腔衛生への問 題意識を持って介護に繋げる	① 口腔ケアとは ② 口腔のメカニズム ③ 口腔内の観察のポイント ④ 口腔ケアの種類と方法 ⑤ 口腔機能向上 ⑥ 歯磨きの方法
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑧	福祉用具を使った 移動移乗の介助方法 (講師:理学療法士)	腰痛予防に関する社会動向を踏まえ、移動・移乗関連の用 具、福祉用具の活用方法を学ぶことで、腰痛予防に配慮し たプランニング能力を身に付けることができる。 (対象は介助なしでは立てない方～全介助の方) 中等度～重度介助の方を対象としています。今後の重度 化を想定して、福祉用具(シート・ボード等)を使用した介護のメ リット・デメリットを知りたいという事業所におすすめです。	① 移乗に関するプランニングの基礎知識 ② 持ち上げない介護技術とは ③ ベッドを活用した介助技術 ④ スライディングシートを活用した移乗技術 ⑤ トランスファーボードを活用した移乗技術 ⑥ リフトを活用した移乗技術
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑨	個浴での入浴介助方法 (講師:作業療法士)	身体機能および入浴環境を理解し、安全・安楽・安心 な入浴介助の知識・技術を修得する 個浴室の環境整備について学びます。小規模多機能型、グ ループホームにおすすめです。	① 身体機能に応じた入浴動作 ② 身体機能に応じた入浴環境 ③ 安全・安心な入浴介助の技術を修得する(介護チェックの方法、記録評価) ④ 入浴関連用具の機能の選定のポイント ⑤ 浴室、浴槽での各動作 ⑥ 疾患別動作 ⑦ 入浴動作時のリスク
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急遽「ZOOM」を使用したオンライン研修へ変更になる場合もございますので
ご了承ください。